

子どもたちに好プレー続出

～三代交流グラウンドゴルフ大会～

鹿 深夢の森の多目的広場で8月18日、三代交流グラウンドゴルフ大会が行われ、厳しい残暑の中、参加者が汗をぬぐいながらプレーしました。甲賀町老人クラブ連合会が毎年開催しているもので、今年は甲賀地域の19チームが出場。小学生からお年寄りまで6名が1組となり競技しました。日ごろから練習を積んでいるお年寄りが、「坂になってから加減して」などとコースに合った打ち方をアドバイスする場面も見られ、経験の浅い子どもたちに好プレーが続出。スポーツを通じて世代を超えた交流の輪が広がりました。



▲世代を超えて交流を深めたグラウンドゴルフ大会

自然体験を通して仲間との絆深める

～ニンニン忍者キャンプ～

高 間みずべ公園で8月26日から28日の2泊3日、ニンニン忍者キャンプが行われ、市内の小学4～6年生がテント泊をしながらアウトドアの達人をめざしました。参加した34名の児童は、「炎の温もりに触れよの巻」「計測術・縄術を修得せよの巻」など、忍者にちなんで名付けられた7つのプログラムを班ごとに体験。大学生を中心とした指導者と一緒に、テントの設営やまき割りや火おこし、アウトドアクッキングなどに挑戦し、安全な野外活動の基礎を学びました。親元から離れ、自然の中で過ごした児童たちは、仲間と知恵を出し合い、協力することの大切さを実感したようです。

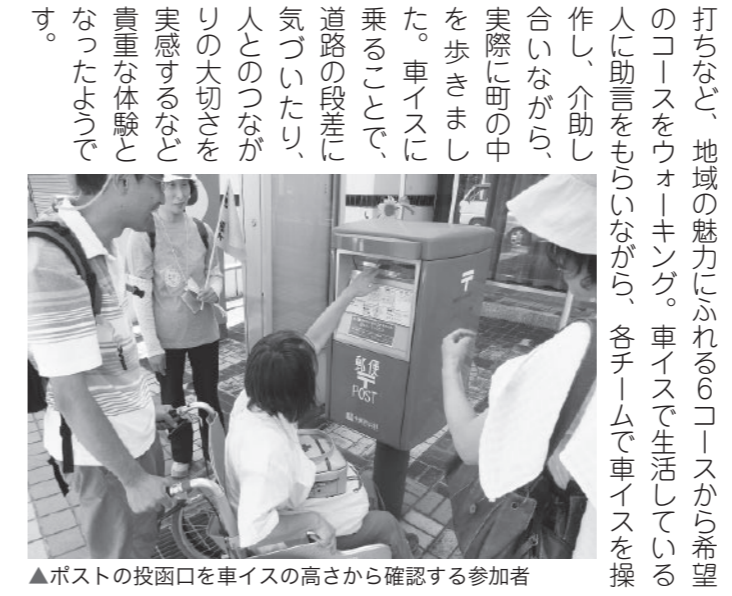


▲なたでまき割りに挑戦

つながりや支えあい車イスで歩いて実感

～鹿深車イスDEウォーキング～

車 イスで町を歩く鹿深車イスDEウォーキング2010（主催あすばる甲賀）が8月28日、信楽開発センターを起点に行われました。さまざまな団体や地元の人を混じえた実行委員会の企画・運営により、甲賀・湖南両市7地域を順に会場として毎年開催しています。今年は220名が参加しました。参加者は、寒元散策、信楽高原鉄道乗車、そば打ちなど、地域の魅力にふれる6コースから希望のコースをウォーキング。車イスで生活している人に助言をもらいながら、各チームで車イスを操作し、介助し合いながら、実際に町の中を歩きました。車イスに乗ることで、道路の段差に気づいたり、人とのつながりの大切さを実感するなど貴重な体験となったようです。



▲ポストの投函口を車イスの高さから確認する参加者

熟練の技で学校・園を美しく

～教育施設修繕奉仕～

夏 休み期間を利用し、8月20日と26日に、市内の小中学校と保育園・幼稚園、子育て支援センターなどで修繕奉仕作業が行われました。子どもたちに美しい施設で新学期を迎えてもらうと、水口町商工会建設業部会、県建築組合水口支部、甲南町電気組合、信楽建築組合の皆さんにより毎年ボランティアで実施されているもので今年も73名が参加。皆さんの熟練の技で、施設内の電気・水道・左官・大工関係の修繕修繕が進められました。

猛暑の中、汗を流して作業していただいたおかげで、子どもたちは気持ちの良い環境で勉学に励んでいることでしょう。



▲施設の修繕作業をする皆さん(綾野小学校)

優勝旗めざし14チームが熱戦

～甲賀市長杯軟式野球交流大会～

甲 賀市民スタジアムで8月28日、甲賀市長杯軟式野球交流大会が開幕しました。今年で4回目となるこの大会には、市内のスポーツ少年団14チームが出場。開会式では、選手たちが、掛け声をかけながら元気よく入場行進しました。山本教育長による始球式で試合が始まると、子どもたちは日ごろの練習の成果を出し切るように一生懸命プレーしました。優勝旗をめざして最後まであきらめずに白球を追いかける姿に、スタンドの保護者らから声援や拍手が送られました。3日間の熱戦の末、伴谷少年野球が優勝に輝きました。



▲各チームの団旗に囲まれ力強く選手宣誓

地元産食材で10メートルの巻きずしに挑戦

～信楽小学校～

地 元でとれた食材を使ったジャンボ巻きずし作りが8月31日、信楽小学校で行われました。「ふるさと料理普及事業」を推進する甲賀調理師会が、地元産のカンピョウやシイタケ、キュウリなどを準備し、6年生56名に作り方を指導。クラスごとに横並びした児童は、教わったとおり、用意されたのりの上に酢飯や具を丁寧に置き、全員が息を合わせて10メートルの巻きずしを完成させました。カンピョウ巻きとサラダ巻きの2種類の巻きずしの他、野菜がたっぷり入ったたぬき汁や朝宮茶を使ったほうじ茶プリンなども調理し、調理師会の人たちと一緒に味わいました。



▲10メートルの巻きずしを作る6年生